

2. 経営方針

a. 会社の経営の基本方針

当企業集団は経営理念としての『いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指す』を目標とし、『仕事に挑戦、顧客に満足、社会に貢献』を社是として、118年の歴史と経験に基づき、関係会社と密接な連携を図りながら確かな物づくりを可能とする会社経営を目指しております。

b. 会社の利益配分に関する基本方針

当企業集団の配当政策は、業績の状況、配当性向、企業体質強化のための内部留保等を総合的に判断し、業績に応じた適正な利益配分を継続的に行うことを基本方針としております。

c. 目標とする経営指標

長期的な耐火物需要の減少とデフレ傾向が続く中で、平成14年10月3日策定の新中期5カ年計画により、5年後に売上高80億円、経常利益4億円を目指します。

d. 中長期的な会社の経営戦略

当企業集団は特殊耐火物の専門メーカーですが、近年の継続的な耐火物価格の低下による利益の減少に対応するため、新規事業としての原子力発電所用新型ルツボの開発をはじめとし、さらに経営基盤の安定を図るため、現有不動産の効率的活用を目指し、本社の賃貸ビル化、御船工場(愛知県)の資産賃貸化等を積極的に進めてまいります。

e) 会社の対処すべき課題

急激な回復が期待できない経済環境の中で、上記のような原発関連の高規格ルツボの取り組みやルツボ式溶解兼保持炉、超高温炉内監視カメラのような当社が長年培ってきた耐火物応用技術製品の開発、販売強化の実施、人件費を含む固定費、製造原価など総コストの徹底した削減、不採算製品の生産中止を含めた製品の絞り込み等、経営の合理化が課題になっております。

f) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方およびその施策の実施状況

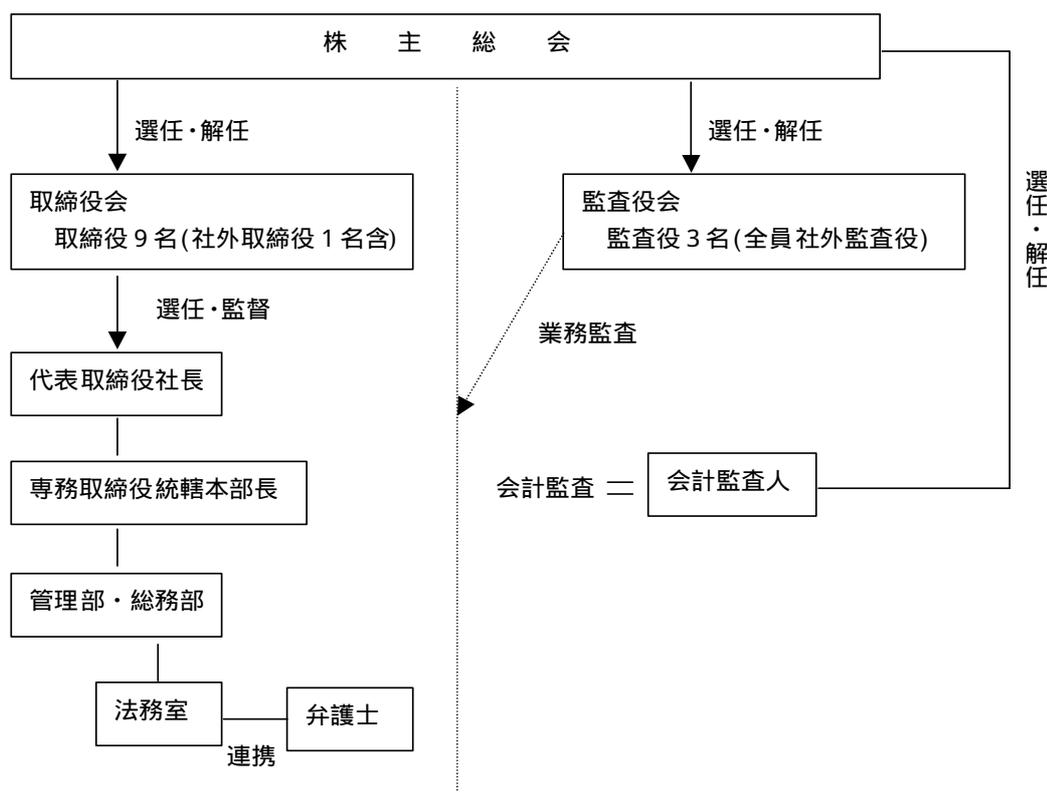
(コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方)

当社は、株主に対する経営の透明性を高めるために、監査役全員を社外監査役（3名）とし、取締役も1名社外取締役を選任して、監査体制及び取締役会の充実を図っております。

さらに、当社の管理部、総務部を中心に、コンプライアンス教育の実施を強化しております。

(コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況)

(1) コーポレート・ガバナンス体制



(2) 社外取締役及び社外監査役の人的関係、資本関係又は取引関係その他の利害関係

当社は大和生命保険株式会社の取締役を1名社外取締役として招聘しておりますが、同社は旧来から当社の筆頭株主で、一定の取引もあり今後とも継続する考えであります。同社は当社株を7.4%程度保有しており、当社は同社の株式を1.3%保有しております。

社外監査役に関しては、取引先のみずほ銀行より常勤監査役1名、みずほコーポレート銀行より非常勤監査役を1名招聘しております。みずほ銀行は当社のメインバンクとして長年に亘り取引関係があり今後とも関係を継続していく考えであります。みずほ銀行は当社株を4.9%、みずほコーポレート銀行は3.3%保有しております。更に、大和生命保険株式会社より社外監査役を1名招聘しております。

(3) 当社のコーポレート・ガバナンスの充実に向けた新たな取組みの最近1年間

当社はコンプライアンスの強化を推進するため、まず、管理部、総務部の幹部に対し社内規程の認識を徹底させるとともに、コンプライアンス関連規則の教育を実施いたしました。